日本における水稻の最大栽培期間の分布について

大 後 美 保 ・ 鈴 木 雄 次

日本各地について一年のうちで最大限度、どのくらいの期間が水稻栽培に利用できるかを知することは、農作物栽培上非常に大切なことである。

日本では水稻の栽培期間を支配する決定的な要素は温度であるとみてよい。そこで日本のうちで温度条件の最も悪いところ、いいかえれば夏期稲作が可能となるような温暖な季節の短いところはどこであるかを調べてみると、北海道の音威根府附近であると認められた。音威根府ではどうにか水稻を栽培することができ、ここを日本における水稻作の栽培北限と大體認めてよからう。

音威根府の従來の栽培状況をみると、播種期は5月15日、收穫期は10月15日で、栽培期間は152日間である。音威根府の水稻播種期の平年日最低気温を求めると 2.3°C 、收穫期の平年日最低気温は 3.2°C となる。日本の他の地方で音威根府と同じような稲作をするならば、少なくとも日最低気温が 2.3°C 以上になれば播種することができるとみてよい。

そこで平年の日最低気温が 2.3°C になる時期がいつ頃であるかを日本各地について求めれば、この時期を以てその地方の最早播種期とみてよいことになる。このようにして求めた水稻の理論的の最早播種期の分布を示せば第1圖の通りである。

第 1 圖

水稻の理論的の最早播種期

次に理論的の最早播種期の場合と同様な方法で各地について理論的の最晩收穫期を求め、ここに求められた理論的の播種期と理論的の最晩收穫期とから最

大栽培期間を求めることができる。このようにして求めた最大栽培期間の分布は第2圖に示す通りである。以上の調査はどの地帯では二期作が可

第2圖
水稻の最大栽培期間

能であるか、また輪作を行う場合稲作期間を一年のうちのどのへんまでずらして栽培することができるかなどについての見當をつける上に役立つほか、色々な應用部面があり、稲作上益するところが少なくないと思う。

ただこの調査で理論的最晩收穫期を音威根府の平年日最低氣溫から割出しているが、これは播種期の場合ほど直接的な意義がない。

また各地の播種期を音威根府の播種期の平年日最低氣溫から割出しているが、日最低氣溫が同じでも暖地へ行くほど播種期から起算した何日間かの積算溫度は當然音威根府より大きいので、最早播種期を播種當時の氣溫だけから決定しないで、その後の積算溫度も考慮すべきであるか否かについてはなお議論の餘地がある。

(昭和25年6月21日受理)

On the Distribution of Maximum Possible Cultivating Period
of Aquatic-rice in Japan.

Y. Daigo Y. Suzuki

We found that the place of the worst climatic condition for the cultivation of aquatic-rice in Japan is Otoineppu, Hokkaidō. Here, the sowing time is 15th May and the diurnal minimum air temperature at the sowing time is 2.3°C, while the harvest time is 15th the October and the diurnal, minimum air temperature at the harvest time is 3.2°C.

Therefore, we sought for the places in Japan where the diurnal minimum air temperatures are same as those of sowing and harvest time in Otoineppu, and thus we obtained the distribution of theoretical earliest sowing time (Fig. 1) and the maximum cultivating time (Fig. 2) in Japan.